

産廃いわて

2012-06 平成24年9月11日発行

# かわらばん

社団法人 岩手県産業廃棄物協会

〒020-0023 盛岡市内丸16-15 内丸ビル5F

URL: <http://www.iwatesanpai.or.jp>

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920



## 産廃と環境を考える全国大会

第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会が東京都で開催されます。今回はパネル討論会に門協会長がパネリストとして出席する予定です。災害廃棄物の処理など大きなテーマで議論や交流が行われます。皆様の応援をお願いします。

日時 10月26日(金)13:30～17:45  
交流会 18:00～

場所 ホテルニューオータニ(千代田区紀尾井町4-1)

基調講演 14:30～15:30(仮)

テーマ 災害廃棄物処理の現状と課題

講演者 環境省

パネル討論会 15:45～17:45(仮)

テーマ 災害廃棄物の速やかな処理を目指して

コーディネーター 国環研 大迫資源循環廃棄物研究センター長

パネリスト 環境省産業廃棄物課 廣木課長

岩手県産業廃棄物協会 門協会長

宮城県産業廃棄物協会 鈴木会長

東京都産業廃棄物協会 高橋会長ほか



## スパットマン現る

8月18日(土)～19日(日)、炎天下の函館に今年も、スパットマン(株)スパット北上 千葉社長)とスパ子さん(現れました。今大会が7度目となる「3+8=11 サンパイレブジュニアサッカー大会」は全国産業廃棄物連合会青年部協議会北海道・東北ブロック協議会の主催で次代を担う青少年に環境について考え学ぶ場を設け、併せてスポーツを通じて健全な交流を目的に函館市で開催され、当協会青年部会からも毎年積極的に参加し、環境クイズ、環境教育、ゴミ拾い等のスタッフとして運営に携わっています。

年々参加チームが増え、今年は32チーム多数の参加者があり、環境学習とサッカーに一生懸命取り組んでいました。



## 水質汚濁防止法改正

トリクロロエチレン等の有害な物質の漏えいによる地下水汚染事例が毎年継続的に起きていることから水質汚濁防止法が改正され、平成24年6月1日から施行されました。

対象施設の拡大

有害物質を貯蔵する施設等の設置者は、施設の構造等について、都道府県知事等に事前に届け出なければならない。

構造等に関する基準遵守義務等

有害物質の使用、貯蔵等を行う施設の設置者は、構造等に関する基準を遵守しなければならない。



## 10月は行政書士制度広報月間

行政書士でない者が資格のないまま官公署に提出する書類の作成や手続きの代行を業として行うことは違反行為になりますので注意してください。

## 定期点検の義務の創設

有害物質の使用、貯蔵等を行う施設の設置者は、施設の構造・使用の方法等について、定期に点検しなければならない。



## BUNさんの研修会にどうぞ

今年もBUN（長岡文明）先生を講師にお招きし、コンプライアンス研修会を開催することになりました。

先生の廃棄物処理法の分かりやすい解説は初心者からベテランに至るまで多くの方から定評がありますが、今回は無料で回収する場合、うっかり勘違いで無許可営業になる場合、加工業・リサイクル業・産廃業の違いなど微妙で悩ましいテーマに切り込んでもらいます。飽きさせない話術と興味深い話題に期待しています。終了後懇親会もあります。（懇親会のみ有料）

後日ご案内します。

日時 10月18日（木）13:30～17:00（予定）

会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング



## がれき処理の見通し

環境省が示した工程表が修正されました。可燃物の広域処理の見通しがほぼついたことから、津波堆積物130万トンと今回県内処理に方針変更となった不燃物90万トンの処理（再生利用）が今後の大きな課題となっています。



## 復興資材活用マニュアル

岩手県は、復興資材マニュアルを作成し、災害廃棄物から分別された土砂、コンクリートがらの活用方針を示しました。平成23年度の処理済み量を除いた473万トンのうち77%に当たる363万トンについて、できる限り復興資材として活用したいという考えです。津波堆積物130万トン、不燃物97万トン、ふるい下16万トン、コンクリートがら120万トンという内訳だそうですが、気が遠くなりそうな量です。会員の皆様が復興に貢献できればと願っています。



## PCB特措法延長

6月28日に開かれた環境省の検討委員会でPCB廃棄物特別措置法で定められた期限の2016年7月までに全国のPCBを処理することは困難な状況であることを踏まえ処理期限を延長することが提言されました。延長後の期限については遅くともストックホルム条約で求められている2028年までには完了できるようにすべきだとしています。昨年度末までに処理されたのは、高圧トランス・コンデンサーなどの4割程度。さらに微量PCB汚染廃電気機器などが大量に存在することが明らかになっていることも背景にあります。



## 放射能汚染は公害？

6月18日の参議院環境委員会で原子力規制委員会設置法案の審議が行われ、中川雅治委員が放射能汚染の行政府の中の責任の所在は環境省にあるとしっかり定めるべきではないかと質問し、細野環境大臣は放射能汚染を公害と位置付けて取り組んでいくこととしたいと答弁しました。

大臣の答弁は分かりやすいと言えば分かりやすいのですが、これは画期的なことで、これまで環境基本法では放射性物質を対象外としていました。「公害」の考え方が大きく変わるようになります。



## 事務局便り

### 【会員の方へお願い】

9月に入ってから暑い日が続いております。高温多湿な環境では熱中症が多発します。引き続き、職場の熱中症予防対策の取り組みをお願いします。

会員事項に変更があった場合は、「変更届」の提出をお願いします。様式は、協会ホームページ（会員の方へ）からダウンロードできます。

### 編集後記

残暑に負けず、これから講習会、研修会などの主要行事を進めてまいります。

皆様にタイムリーな情報を提供できるように頑張ります。